

## 平成 30 年度事業評価シート

No.1

**PLAN(計画)****自己評価**

事務事業番号

70

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴			
事務事業名	首羅山遺跡保存事業				
予算科目	10 款 5 項 10 目				
予算事業名	首羅山遺跡事業費				
総合計画での位置づけ	町の文化を守り、育てる				
担当課	教育委員会	担当課長	久芳 義則		
事業担当者	阿部 悠理	一次評価者	江上 智恵		
事業の性格	自治事務				
法令根拠等	文化財保護法				
事業の対象	首羅山遺跡				
事業の目的	地域の貴重な文化遺産である首羅山遺跡の公開に向けて、参道の整備を行う。首羅山遺跡西谷地区の整備の為の解説を行い、首羅山遺跡の保存活用周知を行い、地域活性化の核の一つとして位置付ける。				
実施期間	開始年度	平成 17 年度から			
	終了年度	平成 36 年度まで			
事業の内容	首羅山遺跡西谷地区の調査結果を踏まえたシンポジウムを行う。また、首羅山遺跡の保存活用周知を行う。首羅山遺跡の参道を整備する。				
目的達成の指標	西谷地区調査結果を踏まえたシンポジウムを行い、首羅山遺跡の保存活用周知を行う。				
	区分年度	単位	29 年度	30 年度	31 年度
	目標	人数			100
	実績	人数			124
指標設定の考え方	シンポジウム来場者数				
事業遂行時懸案事項等					
事業実施時懸案事項対応等					

# PLAN(計画)

No.2

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 674 円

本算定額には国費 本算定額より減じてあります。(単位)					
項目	29年度予算	30年度予算	31年度予算	32年度予算	
事務量	①人工数	0.30	0.30	0.30	0.30
	②人件費単価	7,381	7,350	7,196	7,196
	③補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	2,214	2,205	2,158	2,158
事業費	直接事業費	7,287	3,836	226	226
	人件費	2,214	2,205	2,158	2,158
	合計	9,501	6,041	2,384	2,384
財源内訳	国庫支出金	3,550		167	
	県支出金	300		1	
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,651	6,041	2,216	2,384
	合計	9,501	6,041	2,384	2,384

事業費計画

(千円)

区分／年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度
目標	7,287	3,836	226	226	
実績	2,214	2,205			

## 事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

## DO(実施)

## 事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 780 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。(千円)

項目	29年度決算	30年度予算	30年度決算	
事務量	① 人工数	0.30	0.30	0.30
	② 人件費単価	7,129	7,350	7,187
	③ 補助事業人件費		0	0
	人件費(①×②-③)	2,138	2,205	2,156
事業費	直接事業費	7,287	23,261	10,637
	人件費	2,138	2,205	2,156
	合計	9,425	25,466	12,793
財源内訳	国庫支出金	3,550	11,535	5,280
	県支出金	300	525	525
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	5,575	13,406	6,988
	合計	9,425	25,466	12,793

実施備忘録

# CHECK(評価)

No.3

自己評価	評価者	阿部 悠理
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← 小 1 ↓

評点	判定
5	A
3	
5	
5	
1. そもそも必要な事業か?	
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	
2. 町が実施する必要があるか?	
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の□にチェックしてください。	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	
3. 実施内容は適切か?	
①有効性	
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	
②効率性	
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	
③公平性・透明性	
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	

今後の方向性	見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

## 4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

事業については、平成29年度は実施設計の準備段階。平成30年度は実施設計と工事に着手。遺跡見学会は平成29年度は300名の参加があった。平成30年度は工事着手のため実施しない。平成30年度はこれまでの調査成果を踏まえたシンポジウムを行うことにより、平成31年度の発掘調査報告書にシンポジウムの成果も盛り込む。首羅山遺跡は町内だけでなく町外からも問い合わせが多く認知度が高くなっている。

## 5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

首羅山遺跡周知活用を今後も続けていく必要がある。

## CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	江上 智恵
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。  
5 大 ← → 小 1 ↓

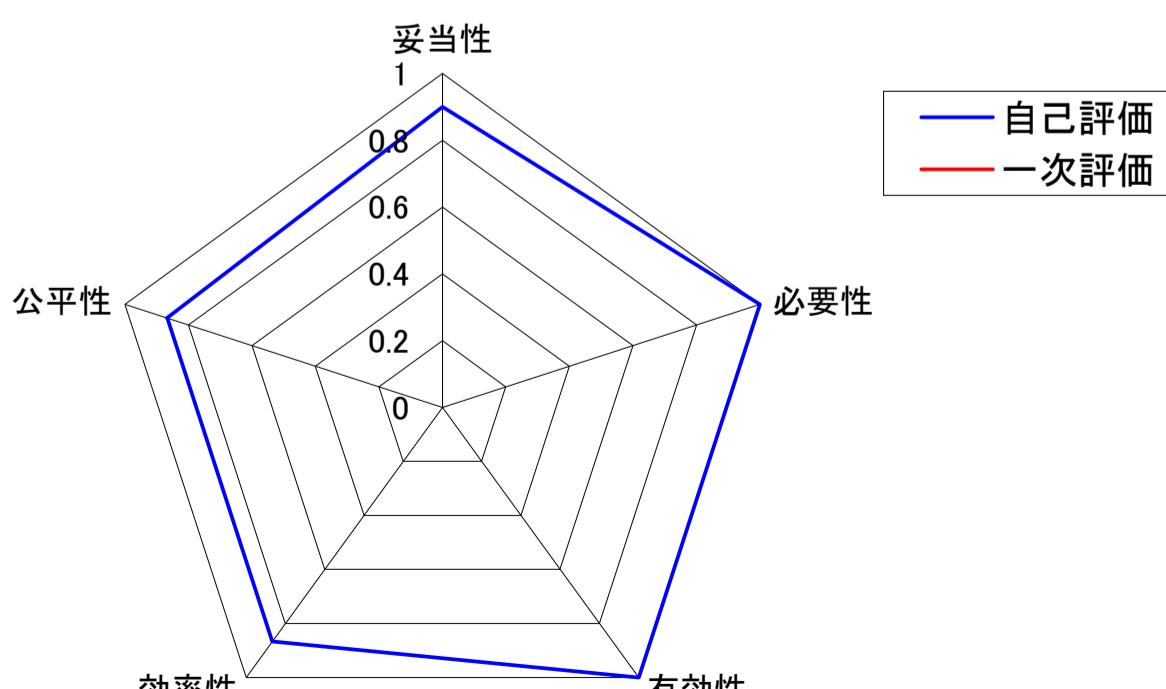
評点	判定
4	B
4	
2	
5	
2	B
4	
4	
5	
5	A
4	B
4	
4	
4	A
4	A
4	
5	

今後の方向性	見直しの具体的な内容
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

今回のシンポジウムは、考古学や文献史学の第一人者及び文化庁を招聘して行ったものであり、首羅山遺跡の価値付けを行うことができた。また参加者も全国から100名以上あり、その数字は遺跡への興味・関心の高さを示している。今後の整備や活用を行っていくうえで、遺跡の歴史的な価値付けは不可欠であり、今回のシンポジウムは、参加者や登壇された先生方にも好評であり、有効であった。今後も調査成果を隨時町民や学会に報告し、活用と両輪で行っていく必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



## ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者

久芳 義則

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

整備を進める中、専門家によるシンポジウムを実施、首羅山の価値を高めることができている。今後も引き続き情報を発信を行い、整備後有効に活用することが必要である。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、  
月 日  
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。  
月 日  
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了  
 外部評価へ

### 事務事業の改善案

手段	
内容	

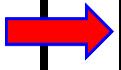
## ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

### 外部評価

今後の方針	見直しの具体的な内容	評価
<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他	



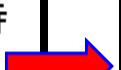
評価

### 外部評価委員の意見

外部評価委員の意見
-----------

### 経営者会議

経営者評価	評価
今後の方針	見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他



評価

### 経営者会議の評価

経営者会議の評価
----------